



## FOREX WEEKLY REPORT

2017年12月11日

(株)新生銀行 市場営業部  
SFXM-1712117576

## I. 先週の動き

通貨			東京市場			海外市場			終日	
			始値	安値	高値	安値	高値	終値	安値	高値
ドル円 高値 113.59 安値 111.99	12/4	月	112.83	112.66	113.07	112.36	113.09	112.41	112.36	113.09
	12/5	火	112.41	112.38	112.70	112.41	112.87	112.60	112.38	112.87
	12/6	水	112.60	111.99	112.62	112.04	112.38	112.29	111.99	112.62
	12/7	木	112.29	112.22	112.61	112.53	113.16	113.09	112.22	113.16
	12/8	金	113.09	113.07	113.48	113.14	113.59	113.47	113.07	113.59
ユーロ円 高値 134.05 安値 132.26	12/4	月	133.84	133.67	134.02	133.27	134.05	133.38	133.27	134.05
	12/5	火	133.38	133.35	133.74	133.01	133.64	133.16	133.01	133.74
	12/6	水	133.16	132.42	133.19	132.26	132.69	132.45	132.26	133.19
	12/7	木	132.49	132.49	132.80	132.71	133.28	133.13	132.49	133.28
	12/8	金	133.13	133.13	133.44	133.13	133.60	133.58	133.13	133.60
ユーロドル 高値 1.1878 安値 1.1730	12/4	月	1.1863	1.1836	1.1876	1.1830	1.1878	1.1865	1.1830	1.1878
	12/5	火	1.1866	1.1857	1.1876	1.1801	1.1874	1.1826	1.1801	1.1876
	12/6	水	1.1826	1.1817	1.1848	1.1780	1.1834	1.1795	1.1780	1.1848
	12/7	木	1.1796	1.1787	1.1809	1.1772	1.1814	1.1773	1.1772	1.1814
	12/8	金	1.1773	1.1743	1.1777	1.1730	1.1775	1.1773	1.1730	1.1777

## ◆先週の動き

【12/4】週明けシドニー時間のドル円は、週末の米上院での税制改革法案通過を背景としたドル買いの流れからギャップアップオープンし、一時112.98まで上伸した。東京時間は日経平均株価が軟調に推移する中112円台後半での揉み合い。欧州時間序盤はドル買いが進行し、一時113円台まで小幅上伸。NY時間にはNYダウ平均株価が大幅高(前日比+200ドル超)で寄り付く中、113.09(高値)をつけるも滞空時間は短く112円台後半へ再び下落。その後NYダウが上げ幅を縮小し米長期金利も低下する中、引け際に112.36(安値)まで下落した。週明けのユーロドルは、シドニー時間オープン直後につけた1.1897が高値。米税制改革の進展を背景にドルが買われる中1.18台半ばまで下落。東京時間は1.18台後半で揉み合い。欧州時間にはドル高地合いの中1.1840割れまで下押し。NY時間に入るとドイツの第2党ドイツ社会民主党(SPD)の指導部が「メルケル首相との連立に向け予備交渉開始を承認」と報じられるも、為替市場の反応は限定的。英EU離脱交渉を巡り、メイ英首相と会談を行ったユンケル欧州委員長の「完全な合意を結ぶこと不可能だった」との発言で合意持ち越しが伝わると、欧州通貨全般が売られる中ユーロも下落し、1.1830(安値)をつけた。引け際には米株の上げ幅縮小や米長期金利低下でドルが売られる中、1.18台半ばまで戻した。

【12/5】東京時間のドル円は、日経平均株価が軟調に推移する中112円台半ばから112.38(安値)まで下押ししたものの、後場には同株価が下落幅を縮小し112.70近辺まで上昇。欧州入り後は112.41まで反落。NY時間には米長期金利が上昇するも、米11月ISM非製造業景況指数が予想を下回り(57.4 / 予想59.0)、ドル円の高値は112.87まで。引けにかけて米長期金利が低下に転じ、NYダウ平均株価が下落幅を拡大する中112円台半ばまで緩んだ。東京時間のユーロドルは1.1876を高値に、1.18台後半で動意なく推移。欧州入り後は独長期金利低下とともに1.1850割れまで下落。NY時間に米長期金利上昇を背景にドルが強含み、1.1801(安値)まで値を下げた。

【12/6】東京時間のドル円は朝方につけた112.62を高値に、日経平均株価が前日比400円超の大幅安となり、円買いが優勢となり欧州時間序盤に111.99(安値)まで下落。NY時間入り後発表された、米11月ADP雇用統計(前月比+19.0万人 / 予想+19.0万人)やトランプ米大統領が「エルサレムをイスラエルの首都と認定」との報道への為替相場の反応は限定的となり、112円前半で狭いレンジでの揉み合いとなった。東京時間のユーロドルは1.1848を高値に、1.18台前半で動意なく推移。欧州時間はメルシュECB専務理事の「資産買入れプログラムの終了を計画し始めるべき」発言で独長期金利が上昇するも、1.1810割れまで下落。NY入り後は同金利が低下に転じる中1.1780(安値)をつけ、その後は1.1800を挟んだ狭いレンジでの推移となった。カナダ中銀会合では政策金利を据え置き、また声明で利上げに対する慎重姿勢が維持された事を受けて、カナダドル円は88円代後半から87円台後半まで下落した。



【12/7】東京時間のドル円は朝方に112.22(安値)をつけたが、日経平均株価が前日比+200円超で寄り付いた後も上げ幅を拡大、金融市場のリスク許容度改善から円売りが優勢となり112.61まで上昇。欧州勢参加後はドル買い地合いとなり、112.80近辺まで上伸。NY入り直後は112円台後半での揉み合いが続いたが、トランプ大統領が来月にインフラ計画を発表する予定と伝わり米長期金利が上昇し、米主要株価指数が堅調に推移する中、引けにかけて高値113.16まで値を上げた。今朝方、米上下両院で期間2週間の暫定予算を可決した事が伝わり、ドル円は前日高値を超えて上昇した。東京時間のユーロドルは、1.1800を挟んだ小幅レンジで動意なく推移。欧州勢参加後に発表されたユーロ圏第3四半期GDP確報値は予想通り(前期比+0.6% / 予想+0.6%)となり、為替市場の反応は限定的。その後、ドル高の流れの中1.1780割れまでやや下押し。NY入り後、メルケル独首相が連立を模索しているドイツ社会民主党(SPD)が連立入り協議開始について党大会で賛成多数となった事が報じられ、1.1814(高値)まで上昇。引けにかけて米長期金利上昇に連れてドルが強含み1.1772(安値)まで下落した。

【12/8】ドル円は東京時間朝方に113.07(安値)をつけたが、米議会で短期つなぎ予算が可決され政府閉鎖が当面回避されたことや、前日比プラスで寄り付いた日経平均株価が終日堅調に推移し前日比+300円超まで上昇したことを背景に、緩やかな右肩上がりとなり113.40円台まで上昇。欧州時間は米11月雇用統計を控え、113円半ばでの横ばい推移となった。NY時間に発表された米11月雇用統計は失業率(4.1%/予想4.1%)、非農業部門雇用者数変化(+22.8万人/予想+19.5万人)、平均時給(+0.2%/+予想0.3%)と強弱入り混じり内容であったが、平均時給の弱い結果が嫌気され、一時113.14まで下落。しかし売りを巡後は、堅調なダウ平均株価(終値ベース史上最高値となる24,329.16ドル)を材料に、113.59(高値)まで値を伸ばし、高値圏で揉み合ってNY時間を引けた。ユーロドルはオセアニア～東京時間に1.17後半での狭い値動きの中でつけた1.1777が同日の高値。欧州勢が参加すると、米長期金利の上昇によるドル買い優勢となり、米11月雇用統計発表前に1.1730(安値)まで下落。NY時間では、平均時給が市場予想を下回った米雇用統計によりドルが下落するとNYクローズにかけてじり高となり1.1770台まで上昇した。

## II. 今週の予想

通貨	今週予想		コメント
	安値	高値	
ドル/円	112.20	114.20	レンジ
ユーロ/円	132.80	134.80	レンジ
ユーロ/ドル	1.1720	1.1880	堅調

### ◆今週の予想

ドル円はレンジ相場を予想する。今週最も注目されるイベントは12日(火)～13日(水)に実施予定のFOMC。今会合では利上げが見込まれているが、市場はほぼ100%織り込み済みであり利上げによる為替相場への影響は限定的と考えている。又、今会合は、退任予定のイエレン議長が会合後に公式記者会見を行う最後のFOMCである為(1月会合は議長記者会見無し)、2018年/2019年の見通しに敢えて変更は加えず、後任のパウエル次期議長にバトンを渡すと予想する。加えて、現段階で米税制改革は詳細が未定であり、金利見通しに織り込みづらいため、FOMC後の声明文・ドットチャートでは税制改革に対する特段の言及はないとも予想する。今週は、米11月消費者物価指数(12/13)、米11月小売売上高速報(12/4)などインフレ関連指標の発表が予定されている。消費者物価指数は物価上昇圧力を探る上で注目したいところだが、FOMC結果公表直前に発表される為、市場は反応し辛いだろう。今会合が諸外国がクリスマス休暇に入る前、今年2017年最後のイベントになるであろうが、ドル円の値動き的には限定的になると予想する。一方でリスク要因としては、トランプ大統領によるエルサレムの首都認定に端を発する中東情勢緊迫化や、北朝鮮情勢(11日から日米韓の軍事演習を予定)には引き続き留意。IMMで円ショートが積み上がっている中(～12/5)、突発的な円買い戻しに注意したい。

ユーロは底堅く推移すると予想。今週のECBの焦点は、声明文にQE縮小に関する記述があるか否か。現状、ECBの債券購入期間は来年9月までとなっているものの、その規模と期間は必要に応じて延長できるとされているのに対し、先週はECB高官から「資産買入れプログラムの終了を計画し始めるべき」と出口を意識した発言が出てきている。今回の会合でQE縮小に関する記述や言及があった場合、「出口」がより一層意識され、ECBの利上げ期待の高まりがユーロをサポートする事となるだろう。一方でリスク材料として、メルケル独首相の連立政権樹立へ向けた交渉や、英EU離脱交渉に関するヘッドラインについては引き続き注意を要する。



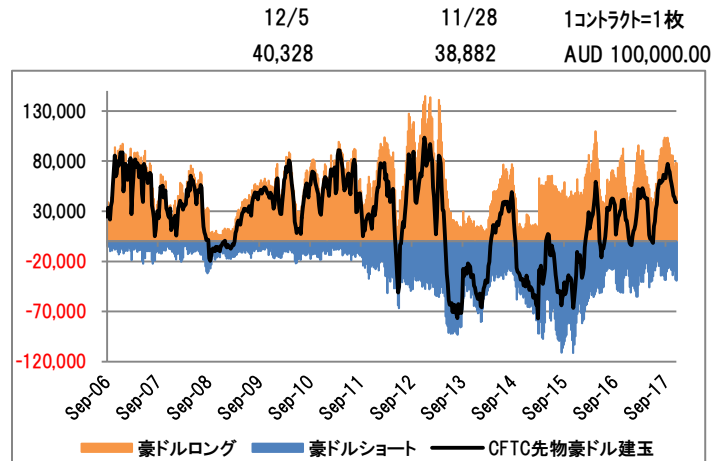
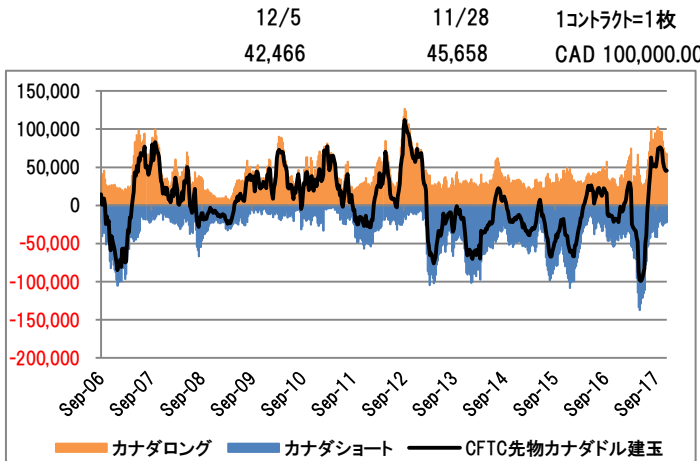
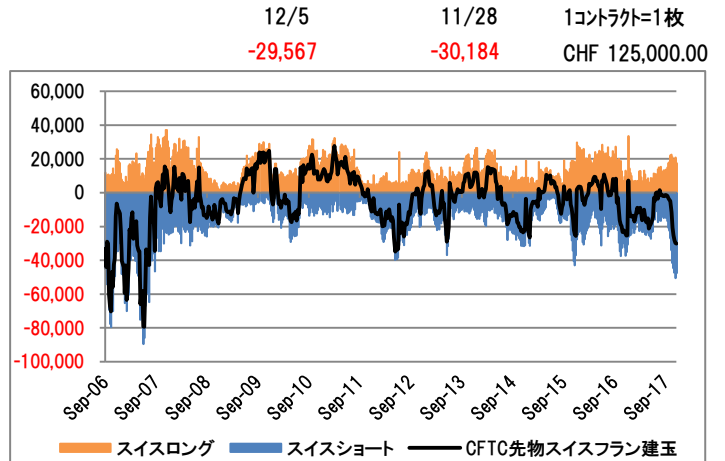
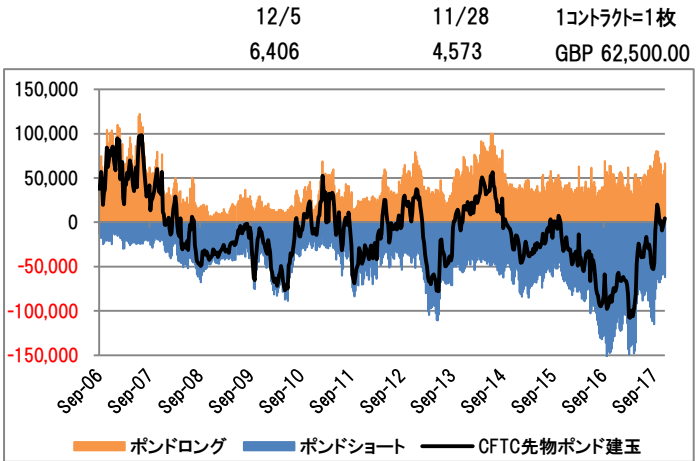
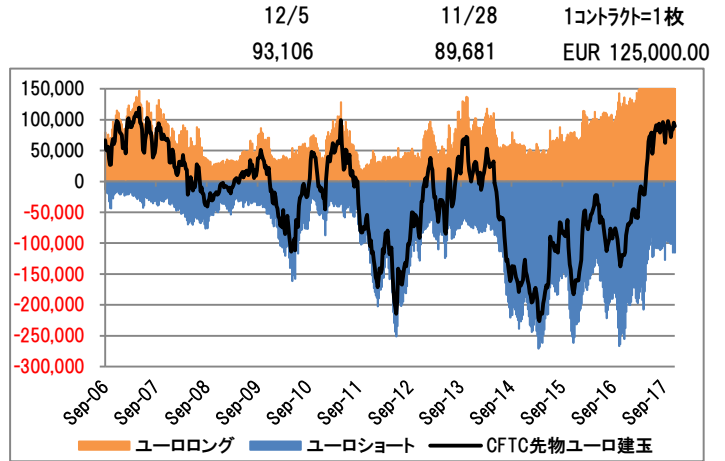
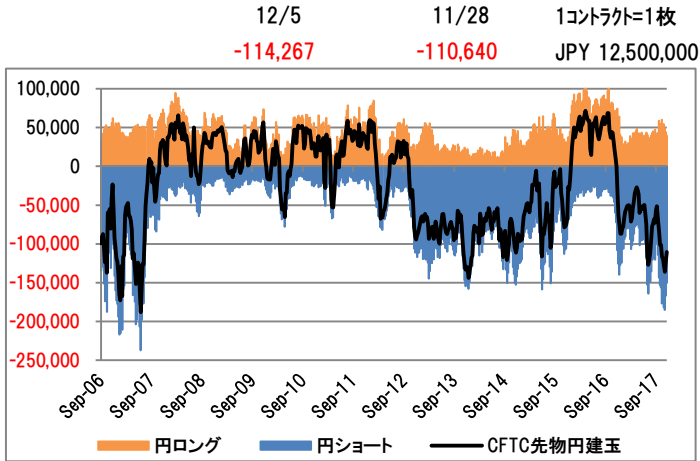
## Ⅲ. 経済指標カレンダー

日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
12月11日				EU外相理事会
	18:00	欧		ノボトニー-ECB理事、発言
12月12日				米連邦公開市場委員会(FOMC、~13日)
				米アラバマ州上院補欠選挙
	18:30	英	11月	消費者物価指数(前年比)
	18:30	英	11月	生産者物価指数(季調前、前月比)
	19:00	独	12月	ZEW調査(現状/期待)
	22:30	米	11月	生産者物価指数(前月比)
	4:00	米	11月	月次財政収支
	7:15	豪		ロウRBA総裁、発言
12月13日				英中銀金融政策委員会(MPC、~14日)
				メイ英首相、党首討論
	8:30	豪	12月	ウェストハック消費者信頼感(季調済/前月比)
	16:00	独	11月 確報値	消費者物価指数(前年比)
	18:00	日		黒田日銀総裁、発言
	18:30	英	11月	失業率(社会保障受給)
	18:30	英	11月	失業保険申請件数推移
	18:30	英	8-10月	ILO失業率(3ヵ月)
	21:00	米		MBA住宅ローン申請指数
	22:30	米	11月	消費者物価指数(前月比)
	4:00	米		FOMC政策金利
	4:30	米		イエレンFRB議長、発言
12月14日				欧州中央銀行理事会(ECB)
				EU首脳会議(~15日)
	9:30	豪	11月	失業率
	11:00	中	11月	小売売上高(前年比)
	11:00	中	11月	鉱工業生産(前年比)
	13:30	日	10月 確報値	鉱工業生産(前月比)
	17:30	独	12月 速報値	マークイット/BMEドイツ製造業PMI
	18:00	欧	12月 速報値	マークイット ユーロ圏製造業PMI
	18:00	欧	12月 速報値	マークイット ユーロ圏コンホジットPMI
	18:30	英	11月	小売売上高(除自動車燃料、前月比)
	21:00	英		英中銀政策金利
	21:45	欧		ECB主要政策金利
	22:30	欧		ドラギECB総裁、発言
	22:30	米		新規失業保険申請件数
	22:30	米	11月	小売売上高速報(前月比)
22:30	米	11月	輸入物価指数(前月比)	
	23:45	米	12月 速報値	マークイット米国製造業PMI
12月15日	8:50	日	第4四半期	日銀短観
	18:00	欧		ノボトニー-ECB理事、発言
	22:30	米	12月	ニューヨーク連銀製造業景気指数
	23:15	米	11月	鉱工業生産(前月比)



### IV. IMM投機勘定

- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



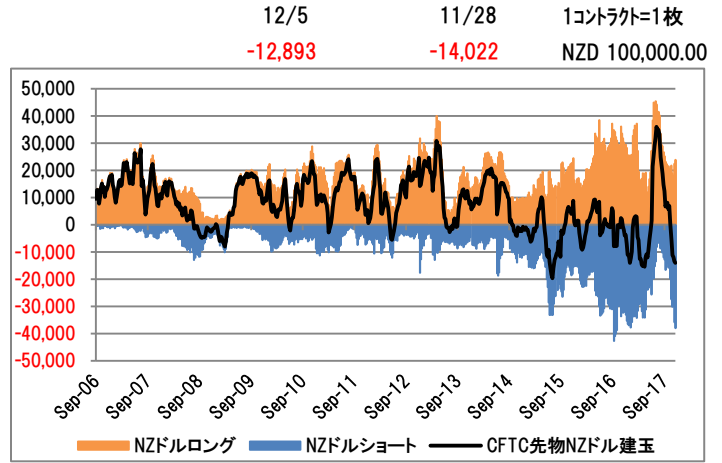
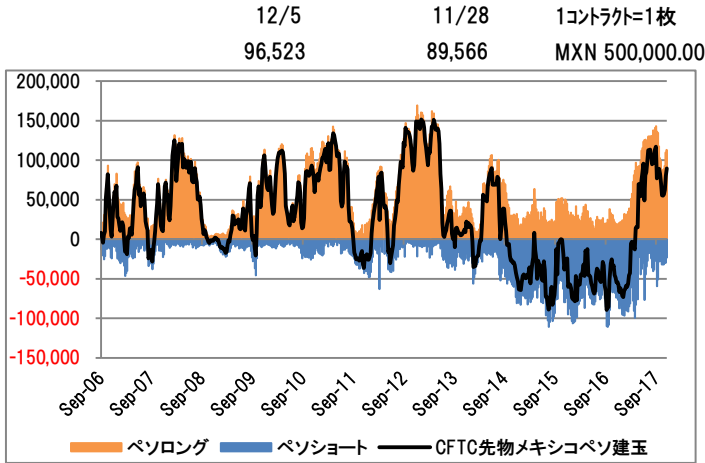


## IV. IMM投機勘定

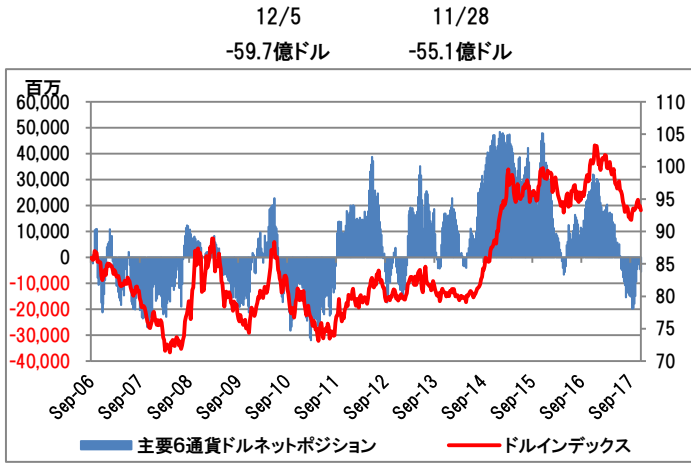
★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。

★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。

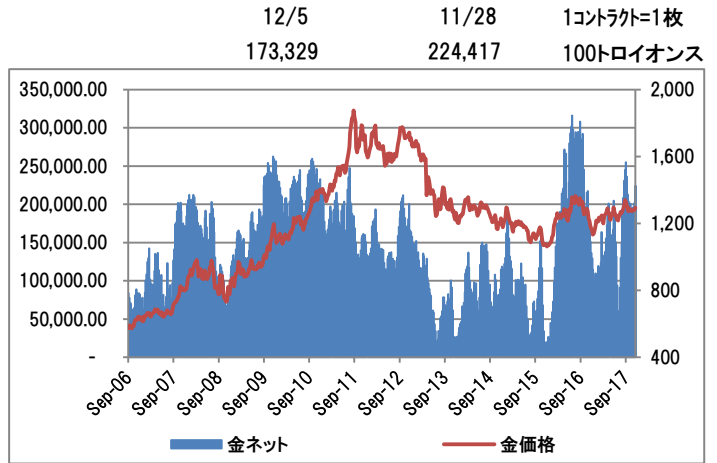
★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



★対8通貨のドルネットポジションとドルインデックス



★COMEX金投機筋ネットポジションと金価格の推移



- ・この資料の無断での複写、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります、また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等／株式会社新生銀行 登録金融機関／関東財務局長(登金)第10号  
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会